北海道大野農業高等学校

ＰＴＡだより

第１４５号

令和８年３月１日　PTA事務局発行

卒業にあたって

ＰＴＡ会長　田中　久容

道南の冬も少しずつやわらぎ、雪解けとともに春の訪れを感じる季節となりました。卒業生の皆さん、そして保護者の皆様、ご卒業、誠におめでとうございます。ＰＴＡを代表して心よりお祝い申し上げます。

三年前、期待と不安を胸にこの学び舎の門をくぐった皆さんは、今まで多くの経験を積み重ねてこられました。教室での学習に加え、圃場や実習施設での実習、地域との交流活動など、農業高校ならではの学びの中で、仲間とともに汗を流しながら成長してきたことと思います。大農での地道に作業を続けてきた経験は、努力を積み重ねることの大切さと物事に真摯に向き合う姿勢を培ってくれたのではないでしょうか。

卒業生の皆さんの前には、新しい道が広がっています。進学や就職など、それぞれの進む道は異なりますが、大農で培った経験や仲間との絆を大切にして、自分らしく歩んでいってください。皆さんが地域や社会を支える存在となって大きく成長されることを、心から願っています。

また、今日この日を迎えるまで、子どもたちを励まし続けてこられた保護者の皆様のご尽力に、心から敬意を表します。

今までの主なＰＴＡ活動を振り返りますと、各学科のＰＴＡ実習体験会が計画通り三回実施できました。また、緑園祭ではＰＴＡのお母さん方により、豚汁とおにぎりを提供できました。今までＰＴＡ活動にご協力いただきましたことを心より感謝申し上げます。

最後になりますが、三年間ご指導いただきました、校長先生をはじめ諸先生方、本当にありがとうございました。これからも、変わらぬご指導をお願いいたします。大野農業高校の益々のご発展を卒業生共々祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

卒業を迎えて

校長　芳賀　雄太

次第に春の陽気を感じる時期を迎えています。

本日、第七十八回卒業証書授与式を挙行し、三年生四十七名に卒業証書を授与することができました。三年間の高校生活を無事修了した卒業生の皆さん、そして三年間の高校生活を支えていただいた保護者等の皆様、ご卒業本当におめでとうございます。

皆さんが三年間の高校生活で、日々の学習はもちろんのこと、農業クラブ活動や部活動、地域の様々な行事への参加を通して、一人ひとりが大きく成長してきたことを実感していることと思います。この年月のなかで、本校生徒の皆さんに北斗市をはじめ管内の各自治体、地域の方々、関係団体、企業の皆様が、将来の人材育成に向けて貴重な時間を割きながら、学びの機会を設けていただいております。このことに感謝の気持ちを忘れず、将来、自分が生活や仕事の場とする地域、そして自らの知識・技術、意欲を発揮するための職場、仕事において是非、自分のためのみならず、社会にも貢献できる意思と活動に取り組んでもらいたいと思います。

終わりに、高校入学以降、様々な面でお子様の成長を支えてこられました保護者等の皆様には、大野農業高校の教育活動に深いご理解とご協力いただきましたことに重ねて深く感謝申し上げます。併せて、今後とも温かいご支援をいただきますようお願い申し上げ、本校を代表したお祝いの言葉といたします。

PTA事務局から

《今後のPTA活動》

3月18日（水）
第5回PTA役員会
第2回文化体育後援会役員会
4月9日（木）
PTA・文体監査
4月25日（土）
PTA・文体総会
PTAだより発行

卒業生表彰者一覧

御下賜金記念優良卒業生

小谷梨々花（食品科学科）

全国農業高等学校長協会賞

黒田　悠介（農業科学科）
堀抜　悠斗（園芸福祉科）
中村　優那（食品科学科）

日本学校農業クラブ北海道連盟賞

中村心唯姫（食品科学科）

財団法人栗林育英学術財団研練褒章

寺内　碧人（食品科学科）

皆勤賞

安藤　成那（園芸福祉科）
堀抜　悠斗（園芸福祉科）
加藤　洸大（食品科学科）

学校長賞

■生徒会活動賞
寺内　碧人（食品科学科）

■部活動賞
フェンシング部
清水　優基（農業科学科）
田中　雅也（農業科学科）
玉森　月梁（農業科学科）
ボランティア部
堀抜　悠斗（園芸福祉科）

■農業クラブ活動賞
椎名　果梨（農業科学科）
三浦　陸（農業科学科）
工藤　綾香（園芸福祉科）

■努力賞
小泉由梨歌（食品科学科）
竹田　琉華（食品科学科）

部活動大会報告

（12月6日～2月13日）

フェンシング部

■第37回全道高校新人戦フェンシング大会
男子フルーレ個人
沼尾（A2）　3位
髙木（A1）　6位

■第42回　カナダ交流記念北海道大会
ジュニア男子フルーレ
沼尾（A2）　2位
髙木（A1）　3位

相撲部

■第40回全国高等学校相撲選抜弘前大会
団体戦　予選出場
1回戦　大農0-3弘前実業（青森県）
2回戦　大農0-3東洋大牛久（茨城県）
3回戦　大農2-1小牛田農林（宮城県）
個人戦
川井（M1）・濵野（M1）
原（M1）・藤本（M1）
初戦出場

令和7年度校内実績発表大会

（12月17日）

■分野Ⅰ類
最優秀賞
農業科学科・野菜班
「化学農薬の低減を目指したメロン栽培」
A2　野田　和吏
優秀賞
食品科学科・乳加工班
「大農産フレッシュチーズにおける製造方法の確立」
M2　中谷　静音
園芸福祉科・果樹班
「持続可能な果樹生産を目指して　～環境と経済の好循環～」
H2　山田　健生
H2　小林孝太郎

■分野Ⅲ類
最優秀賞
食品科学科・肉加工班
「地域の魅力を創造する商品開発に関する研究～国産羊肉を活用した連携学習の実践～」
M3　小谷梨々花
M2　海川　愛和
優秀賞
食品科学科・実験流通班
「新鹿島屋の運営方法に関する取り組み」
M3　小泉由梨歌
M2　阿部　姫和

■分野Ⅱ類
最優秀賞

卒業おめでとうございます

三年間ありがとうございました

農業科学科三年担任　石川　ウーリーエル

卒業生の保護者等並びにご家族の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。保護者等の皆様におかれましては、本校ＰＴＡ役員や体験実習、緑園祭等へ積極的に関わっていただき大変お世話になりました。

三年前、十三名で入学した我が農業科学科の生徒は多くの困難に立ち向かいながら、日々成長していきました。私は教室から生徒を見てきましたが、それぞれ強い意志があって見所の多いメンバーだなと感じていました。入学当初は皆が仲良くしている様子が見られ、担任としても嬉しい気持ちでした。その後それぞれのキャラクターが際立ち始め、時には小さな衝突や大きな衝突を繰り返すことでお互いの考え方を理解して人間関係の難しさを学んでいきました。三年間の学校行事では農業クラブ活動や宿泊研修、緑園祭、見学旅行、インターンシップと充実していました。しかしクラス運営や進路活動では、生徒にプレッシャーがかかる場面も多くあり、担任のサポートが十分行き届いていなかったかもしれません。現に十三名全員での卒業式を迎えることはかなわず、担任としての指導力不足を痛感しています。

そのような中でも、生徒が夢と現実の狭間で悩みながら挑戦している姿が印象的でした。自分の決めた道に最後は自信をもって突き進めたのは、本人の成長もありますが、これまで十八年間に渡る保護者等の皆様の愛情を持った関わりやサポート、家庭教育があってのものだと感じております。Ａ３を支えていただき本当にありがとうございました。

これからの社会は、ＡＩ技術の台頭で生活環境に大きな変化があるかもしれません。しかしＡ３の卒業生が大農で学んだ生きる力を武器にそれぞれの道を逞しく歩んでくれることを信じています。三年間お世話になりました。

三年間を振り返って

園芸福祉科三年担任　庄司　清人

三年間の教育活動を無事に終え、卒業の時を迎えることができました。保護者等の皆さまには、日頃より温かいご支援、ご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

今年度の園芸福祉科三年生は、本校で最も人数の少ない学級として入学時からスタートしました。学習面では考査の平均点が決して高いとは言えず、担任としてはもちろん学科長としても悔しい思いも経験しましたが、その分、生徒は声を掛け合い、協力して励まし合う姿が各所に見られました。小さな学級だからこそ生まれた結束力と温かさが大きな強みだったと感じています。

園芸福祉科としての学びでは、花や果樹の管理・栽培に向き合い、他校種の園児や支援学校の生徒、高齢者との交流活動にも、一人ひとりが責任をもって取り組みました。私には見せたことがないような地域の方や小さな子どもたちの前で優しい表情を見せる生徒たちの姿は、専門性だけでなく、人と関わるコミュニケーション力が大きく育ったと思います。また、三年生での授業で介護職員初任者研修の資格取得では、長時間の講義や演習に全員が真面目に?取り組み、レポートや現場実習を無事終了させ、全員が修了証を手にすることができました。

私は二年次より前任の佐野先生より担任を引き継ぎましたが、当初は引き受けたもののクラス生徒の進路決定をどのように進めていこうか少し不安な面もありました。しかし、早い人は二年生の夏休み明けから遅くても見学旅行が終わったあたりから徐々にですが意識しだし、スロースタートの生徒たちも進路決定を目標にしてなのか、資格取得や日を追うごとに様々な場面を通じて、成長していく姿を間近で見られたことは、私にとって喜びでもありました。卒業後、それぞれが歩む道は違いますが、この三年間で身につけた思いやり、根気強さ、そして「誰かの力になりたい」という気持ちは、どの道に進んでも確かな支えになるはずです。

三年間、本当にありがとうございました。保護者等の皆さまのご健康と、卒業生の未来が明るく実り豊かなものであることを、心よりお祈り申し上げます。

卒業おめでとうございます

卒業の時を迎えて

食品科学科三年担任　平　隆太郎

卒業生の保護者等の皆様、ついにこの時がやってきました。本当におめでとうございます。生徒の皆さんは大野農業高校に入学して今日の今日まで様々なことを経験し、時には苦難も乗り越え、精一杯頑張ってきました。その結果、本当に大きく成長しました。私自身が担任としてここまで関わることができ、そして、生徒の皆さんが大変立派な姿でこの卒業の時を迎えることができたのは、何よりもご家庭の多大なご支援・ご協力があったからこそだと感じ、保護者等の皆様には感謝の念で一杯です。

生徒の皆さんが入学したのは、ちょうどコロナ禍による様々な制限から解放されたタイミングであり、三年間の高校生活を通して中学校時代には味わえなかった楽しみを感じることができたことと思います。学年が進行するにつれて学校行事等も徐々に拡大され、卒業を目前とした十二月にはこの学校ではしばらくぶりとなる予餞会も実施され、担任としても大変嬉しい気持ちで一杯でした。

入学当初、担任として関わるに当たって、この三年間で個々の能力を伸ばし大きく飛躍してほしい、そのために、何かに気負いしたり気持の障害となることを抱いたりせず、安心してのびのびと学校生活に臨んでほしいという想いでスタートさせてもらいました。私自身少し心配性な面もあり、大切な連絡事項や学校生活において心がけるべき重要なことについては、一人ひとりにしつこいほど伝えてきました。その傍ら、あまり干渉することなく少し離れたところからクラスの生徒達の様子を見ないふりをして見守っていました。それぞれ違った場所から様々な価値観をもって集まった人同士がともに過ごしていくうえで、時にはお互いにぶつかり合ったりすることも考えられます。そんなときには瞬時に駆けつけ、直ちに良い方向に軌道修正できるように努めようという心構えでやってきました。しかし、この三年間を通してクラスにおいて争いごとや大きなトラブルもなく、本当にいつも平和なクラスだったと強く感じ、そんな身構えは取り越し苦労だったと実感させられました。内心は何か不満に感じることもあったかもしれませが、それを表に出すことなくお互いを尊重しようという気持ちを大切にして過ごしてきた証であると思います。これは本当に評価すべきことです。このクラスで三年間過ごしてきたことで人としてさらに磨かれたことと確信しています。

これから先、各方面において活躍するに当たって、これまで以上に大きな困難にも遭遇し険しい道を歩むこともあるかと思います。そんなとき、一人ではなく仲間とともに乗り越えていければと思います。そして、さらに強く逞しく成長して輝きを放つ姿を心待ちにして、保護者等の皆様にも引き続き陰ながらに見守っていただければと思います。三年間本当にありがとうございました。